

平成25年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1495400176	事業の開始年月日	平成23年4月1日
		指定年月日	平成23年4月1日
法人名	株式会社 日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語 のぼりと		
所在地	(〒214-0014) 川崎市多摩区登戸658-2		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成25年11月25日	評価結果 市町村受理日	平成26年6月23日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>花物語 のぼりとは、小田急線・JR南武線の3 駅が利用可能で、アクセス良好な場所にあり、利用者様、ご家族様のアクセスが良好です。 平成23年4月1日開設。認知症対応型共同生活介護と、小規模多機能型居宅介護の複合施設です。 共同生活でありながらも、お一人お一人の“個”を尊重し、自由に生活していただくことをモットーに、その人らしく、本人の自由を尊重した生活お過ごしいただけるよう、職員一同励んでいます。ご利用者様のご自宅だと感じていただけるよう接しております。</p>
--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成25年12月17日	評価機関 評価決定日	平成26年4月15日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>【事業所の概要】 事業所はJR南武線および小田急線の登戸駅より徒歩約14分の住宅地に立地している。建物は木造2階建てで、玄関を入ると左右に分かれて当事業所と併設の小規模多機能型居宅介護事業所がある。</p> <p>【理念の実践とモットー】 事業所は、利用者に「安心」「安全」「清潔」な生活を提供することを開設時からの理念としている。これに併せて職員は、「ゆったり」「楽しく」「穏やかに」そして「いっしょに」をモットーとし、利用者の一人ひとりがその人らしさを大切に生活を送ることができるように日頃の介護・介助に当たっている。</p> <p>【医療連携と看取りに関する指針の確立と実践】 医療連携体制を敷き、利用者は協力医療機関の医師と24時間連絡体制にある看護師との連携を図りながら、安心して医療の受診と健康管理の相談ができる体制にある。職員は看取り介護を経験している。利用者の状態が重度化した場合の対応に関する指針を説明し、できる限り事前に利用者の希望や思いを尊重し、その人らしく本人にとって最良といえる選択ができるように支援している。</p> <p>【地域とのつながり】 事業所は、地域の方に向けて「健康祭り」を2か月に1回開催して、骨密度や血管年齢などを測定したり看護師による健康相談を行ったりしている。また足湯やお茶菓子を提供して、地域住民との交流に積極的に取り組み、今では買い物帰りに足湯に立ち寄ってくれる方もいる。</p> <p>【家族との新聞情報】 家族にはイベントの終了毎に「花のぼりと新聞」を発行している。流しソーメンやスイカ割り、梨狩り行事、行事食の様子などを記載した新聞を送り、家族との連絡を密にしている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語 のぼりと
ユニット名	1階グループホーム

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様が、笑顔で自由にお過ごしいただけるよう、そのお気持ちを考えながら、笑顔とふれあいを大切に、日々の介護を行なっています。職員会議や朝礼や研修で理念の共有をしています。	理念は開設時の管理者が主となり、職員と話し合い作成し、各ユニットの事務室に掲示している。管理者は新入職員の研修時に説明し、職員は毎朝礼時に理念と平成25年度法人の目標を唱和し、確認し合い実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣地区の盆踊り大会や、近隣の梨園など毎年ご利用者様と一緒に参加させていただいています。2ヶ月に1度健康祭りを実施し近隣住民の方を招き交流しています。	登戸町内会と登戸新町町内会の2か所に加入し、地域の盆踊り大会、地域清掃や防災訓練に参加している。近くの保育園児が散歩時に利用者に手を振って挨拶している。ボランティアがお琴やハーモニカ演奏、歌、日本舞踊を披露し交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営会議の時や、健康祭りの時など近隣の方々が来所された際など小規模の説明と同時に、認知症や介護保険についても説明をしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて出た意見を反映させ、行事を充実させています。健康祭りの定期的な実施を行っています。	運営推進会議は2か月に1回、同一法人の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で開催している。会議では事業所の運営状況や活動内容、外部評価の受審結果を報告し、意見交換を行い、地域の理解と支援を得て運営面に反映している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加している多摩区役所職員の方に現在の平均介護度や状況など、お伝えしてアドバイスをいただいています。	管理者は区役所高齢者・障害課に業務上の問題点を報告し、相談をしている。介護保険の要介護認定更新に家族に代わって立ち会うこともある。多摩区内グループホーム連絡協議会に加入し、研修等を受講し、情報収集にも努めている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員研修にて『身体拘束ゼロの手引き』をもとに、事例検討を含めて、勉強会を行っています。玄関の施錠については施設前に踏み切りがある為安全面を考え施錠させていただいております。職員には研修を通して玄関の施錠も拘束にあたる事を説明しております。	職員は身体拘束をしないケアの勉強会を行い、正しい理解に努めている。玄関と各ユニット出入口は道路を隔てるとJR南武線が通り、近くに踏切もあることから、安全面と防犯上から家族の了解を得て施錠している。朝の玄関や外の清掃時は玄関を開けて利用者は往き来している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員研修の中で、事例検討を含め、どういう場合が虐待になりうるケースなのかを話し合っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設に入所された時から対象の御利用者様がいらっしゃった為、支援をしています。職員へは認知症ケアを行う上で、必要な知識として、勉強会を開いたり、研修等に参加をするなどしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	終末期ケアや、医療行為に関する疑問を具体的に説明しています。また状態の変化の際など今後に関する話しなどを行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様から日々の関わり中でイベントやレクについての要望があり、ご意見をもとに毎週金曜日にレク担当職員を配置しています。	運営推進会議や家族の来訪時には声かけし、意見や要望を聞き、運営に反映している。家族の要望から、利用者間違い探しやクイズ、脳トレーニングなどのレクリエーションを多く採り入れている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々のケアの中で、若しくは、カンファの中や会議の中で意見の検討を行いながら、随時取り入れています。その他にも目安箱を設置し意見など集めています。	管理者は月1回の全体会議や各ユニット毎の会議時に日常業務についての職員の要望・改善案などを聞き、業務に反映している。職員の提案により利用者の入浴時に安全面などのためにシャワーチェアを購入して介護しやすくなっている。法人本部が巡回時に提案や要望を傾聴し事業に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	契約更新時に個人面談を行い、就業時間の増減について、又は、契約社員や社会保険の加入について、希望等を聞き入れ、意欲や力（知力・体力・精神力）のあるものには、リーダーやその上を目指してもらうよう、伝えています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修に対象職員は参加できるように調整しています。また、疑問点などがある場合は個別にて対応しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	多摩区グループホーム意見交換会や小規模連絡会に参加し施設間の行き来や電話による相談によりサービスの向上を図っています。区の主催である介護いきいきフェアにもお手伝いとして参加し交流しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、ご家族様やご本人様に要望や不安をうかがっています。入居後も、随時、傾聴しアセスメントを行い、ケアに反映させています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前からご本人様の状態や不安な事の聞きとりを行いアセスメントにより職員間で情報を共有しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様とご家族様の物理的精神的環境を考慮し、サービスにつなげています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様ご本人のADLに応じご本人が無理なく出来る家事などを手伝っていただいています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	帰宅願望の強い方への対応について、ご家族様と相談し、声掛けの仕方や、ご家族様の精神面の負担にならないよう御互いの状況を把握しご本人とご家族の要望に応じています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設に電話があった際には、聞こえるように、わかるように、コミュニケーションの支援を行っています。面会や家族来訪などでは、以前と同じ交流をしていただいています。地元のバラ園へも出かけました	利用者は家族と一緒に行きつけの美容院や馴染みの寿司店などへ外食に出掛けている。墓参りに行く方もいる。利用者の知人や友人が来訪した際は、歓談できるようフロアや居室にお茶出しをしている。利用者の出身地の郷土料理を提供することもある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	良好な関係にある2Fの入居者と1Fの入居者との交流を心がけています。イベントなど合同でおこなっています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了した方でも、家族を通じて、他事業者への情報提供等、支援を行っています。また電話でご連絡させていただき近況などをお伺いする場合があります。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアの中でアセスメントを行い、申し送りやカンファで、意向や希望の把握を随時行っています。	職員は日常の行動や会話の中から意向や希望を汲みとるように努めている。意向を伝えるににくい方は、居室や買い物時に話を聞いている。家族の来訪時に話を聞き、生活歴も参考にしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前や入居後も、利用していた担当ケアマネジャー、及び、家族や本人から情報をえて、今までやってきたこと（家事や生け花等の趣味）が継続できるよう、支援を行っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のアセスメント以外に、ケアプランの更新時や状態変化の際にもモニタリングや評価を行っています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議やご家族様との面談、各フロアーによる会議やモニタリングやアセスメントを行い、介護計画書を作成、職員間で共有を行っています。	入居時に利用者の自宅や病院を訪問し、利用者・家族の話を聞いてアセスメントを作成している。管理者、フロアリーダー、ケアマネジャーなどがカンファレンスし、モニタリングを行い、主治医の所見を入れて介護計画を作成している。見直しは通常3か月、状況に応じて随時行い、現状に即したものとしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に、入居者の言葉や様子を記録し、どういう思いを抱いているのかをリサーチし、申し送りやカンファにて情報の共有及び、介護計画書の見直しを行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人と家族の関係性（今までの生活暦等）を考慮しながら、かかりつけ医の受診の支援や親類との関係の調整を図っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の会員になっており、回覧板や町内会から情報を得て、盆踊り大会に参加をすることができ、楽しむことができるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族との関係性を重視しながら、今までのかかりつけ医にも見ていただいている方もいます。看護師や職員との連携に努めています。	本人や家族の希望するかかりつけ医による医療を継続して受診できるように支援している。職員が家族に代わって通院介助する時もある。協力医療機関の内科医は隔週に、歯科医は毎週往診がある。医療情報は受診記録と訪問医の往診記録に記録し、職員間で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の申し送りやケアの中で、相談をしたり、個人記録に記入し、情報の共有を行い、受診や看護につなげています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院後に定期的に病院にお伺いし現在のご本人様の状況を相談員の方やケアマネージャーの方と医師、ご家族様と相談させていただき一番適した環境の移行への話し合いなど行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	その方にあった、急変時対応マニュアルを作成し、台所に掲示しています。又、どのような状態の時に悪化とするのか等を明記し、職員に周知しています。	いままでに看取り介護を数名経験している。入居時に利用者が重度化した場合の対応に関する指針を説明し、同意を得ている。急変時には主治医、家族、職員が話し合い利用者にとって最善の方法を採るようにする。これらの方針は関係者間で共有している。職員は看取り介護の研修を受講している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	会議の中で初期手当や確認点など研修という形で説明しております。不安がある職員には、個別に対応の仕方を伝えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災マニュアルの確認、定期的な防災訓練を実施しており、実際にすぐに行動が起こせるようにしています。災害時などオーナーや地域の方に声をかけ協力していただけるようお願いしております。	防災・避難訓練は消防署の協力を得て、年2～3回、夜間想定の実施している。訓練は併設の小規模多機能事業所と合同で行っている。訓練への参加を近隣の方に呼びかけている。非常災害用の食料・飲料水は、3日分程度備蓄がある。	防災・避難訓練には運営推進会議などで、近隣住民に参加を呼び掛けていますが、今年度の参加は得られませんでした。今後も引き続き、近隣住民に声かけし、協力体制を築けるよう期待します。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	タバコが吸いたいという利用者様にはその方の生活暦や性格を考慮し、吸っていただいております。ご本人様達の性格を考慮し声掛け等の工夫をしています。	職員は入職時に守秘義務に関する誓約書を提出し、日頃よりプライバシーを損ねることのないように尊敬の念や親しみを持った言葉づかいで接している。個人情報を含む書類は施設のできる書庫に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	購入品の希望があった場合は、一緒に買い物へ行き、自分で選ぶように働きかけています。又、普段の着替えの洋服や飲み物も、自分で選べるよう声掛けを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	働きたいのか、散歩をしたいのか、又は、のんびりと過ごしたいのか、伺いながら、行動を共にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	何を着ていいか悩んでいる利用者様には職員があいだに入り洋服を選んでいただいております。理美容に関してもご本人様から希望があった際は業者に連絡し切っております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常的に料理を手伝っていただく事は難しいですがイベントの時や簡単な調理の時は手伝っていただいております。盛り付けや配膳などご本人様の負担にならないように手伝っていただいております。	利用者は職員と一緒にテーブル拭き、配膳、食器洗い・拭きを行っている。職員は食事介助をし、施設長、管理者などが検食し、検食簿に記入し、本部へ送付している。誕生会にはケーキを提供し、色紙に写真を貼り祝っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の状態に合わせたご飯の量を盛り付けたり、適切な飲水量が確保できるように、声掛け等、支援を行っています。その日によって変わる場合もありますのでご利用者に配膳時に確認しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアが必要な方には介助しております。ご本人様の状態に合わせスポンジブラシなどを使用し口腔内の清潔の維持をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ADLにより定時に声掛けをする方、パットを交換する方完全に自立の方などご入居様にあった対応をしています。	排泄チェック表により、一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導を支援している。利用者の落ち着きがなくなるしぐさや様子からトイレへの声かけをしている。入居時にリハビリパンツから布パンツへ改善した事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	週に1度ヤクルトを購入し飲んでいただいております。便秘になりやすい方などには飲水量を多目にしたりしています。また朝の体操などにも参加していただいております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的に入浴日は決まっているが、その人の気分で日時が変更になる時があります。入浴ができない時間が続くような場合は、足浴や清拭で対応しています。	入浴は基本的に2回、時には清拭やシャワー浴もある。入浴をしたがらない方には声かけする職員や時間を変えたりして入浴支援をしている。菖蒲湯、ゆず湯、みかんの皮を干したものをに入れて季節感を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各入居者様が、自由に居室やフロアで過ごしています。お一人での移動が不可能な場合は、その時の状態観察を行ない、本人に聞いてから、休息の支援を行なっています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が記載した往診記録の確認や、個人記録に添付してある薬剤情報を確認しながら、服薬の支援を行なっています。状態など変化した際は往診医に連絡し薬の変更がある場合があります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	庭の草むしりや日常の食器拭きや洗濯物たたみなどご利用者様の出来る事の支援を行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日は難しく天気がいい日などで近隣を散歩しています。車椅子の方が参加する際は少数にて散歩や外気浴をおこなっております。普段いけない場所に関してはイベントとして企画し実行しています。	天気の良い日には、体調、希望に応じて、車いすの方も事業所周辺や近くの畑の農作物を眺めながら散歩に出掛けている。玄関周りのプランターの野菜や草花の水やりなどして外に出て日光浴をする機会が増えている。バラ園の見物に遠出している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	立替制度をとっています。ご希望に応じ、立替にて購入しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家に帰りたいという訴えがあった時や用事があったときには、ご家族様に連絡し、電話ができるように支援を行なっています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	週に1度花を購入しその時期にあった花を飾っています。季節を感じていただく為に共有スペースなどの飾りつけも行っています。1階のテラスで休めるよう手作りの椅子など準備しています。	リビングは明るく清潔に保たれている。クリスマスツリーやポインセチアの季節の鉢物や生花、イベントの写真飾り温かい家庭的な雰囲気となっている。近くのJR南武線の音はほとんど気にならない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1Fの入居者と気の合う2Fの入居者のところへ遊びに行き、気分転換を図っています。 GHの相談室も場合により使用しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使用していた、食器や家具を居室におき、なるべく、自宅に近い感覚で過ごしてもらっています。	居室は使い慣れたテレビ、椅子、サイドボード、鏡台を置き、仏壇や家族の写真、折り紙作品、人形を飾り、居心地よく過ごせるように工夫している。利用者の中には職員と一緒に掃除をする方もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その人の力量に合わせて、家事の継続を行っています。現在では洗濯物干しやたたむ事などを手伝っていただいています。		

事業所名	花物語 のぼりと
ユニット名	2階グループホーム

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様が、笑顔で自由にお過ごしいただけるよう、そのお気持ちを考えながら、笑顔とふれあいを大切に、日々の介護を行っています。職員会議や朝礼や研修で理念の共有をしています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣地区の盆踊り大会や、近隣の梨園など毎年ご利用者様と一緒に参加させていただいています。2ヶ月に1度健康祭りを実施し近隣住民の方を招き交流しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の時や、健康祭りの時など近隣の方々が来所された際など小規模の説明と同時に認知症や介護保険についても説明をしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて出た意見を反映させ、行事を充実させています。健康祭りの定期的な実施を行っています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に参加している多摩区役所職員の方に現在の平均介護度や状況など、お伝えしてアドバイスをいただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員研修にて『身体拘束ゼロの手引き』をもとに、事例検討を含めて、会議の中で勉強会を行っています。玄関の施錠については施設前に踏み切りがある為安全面を考え施錠させていただいております。職員には研修を通し玄関の施錠も拘束にあたる事を説明しております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	職員研修の中で、事例検討を含め、どういう場合が虐待になりうるケースなのかを話し合っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設に入所された時から対象の御利用者様がいらっしゃった為支援をしています。職員へは認知症ケアを行う上で、必要な知識として、勉強会をひらいたり、研修に参加をするなどしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	終末期ケアや、医療行為に関する疑問を具体的に説明をしています。また状態の変化の際など今後に関する話しなど行っています。		

10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様から日々の関わりの中でイベントやレクについての要望があり、ご意見をもとに毎週金曜日にレク担当職員を配置しています。		
----	---	---	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々のケアの中で、若しくは、カンファの中や会議の中で、意見の検討を行いながら、随時取り入れています。その他にも目安箱を設置し意見などを集めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	契約更新時に個人面談を行い、就業時間の増減について、又は、契約社員や社会保険の加入について、希望等を聞き入れ、意欲や力（知力・体力・精神力）のあるものには、リーダーやその上を目指してもらおう、伝えていきます。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修に対象職員は参加できるよう調整しています。又今年より福祉の実習生にきていただき教える事により職員の新たな気づきや見つめなおすきっかけ作りになりました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	多摩区のグループホームの意見交換会や小規模連絡会に参加し施設間の行き来や電話による相談によりサービスの向上を図っています。区の主催である介護いきいきフェアにもお手伝いとして参加し交流しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、ご家族様やご本人様に要望や不安をうかがっています。入居後も、随時、傾聴しアセスメントを行い、ケアに反映させています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前からご本人様の状態や不安な事を聞き取りを行いアセスメントにより職員間の情報共有しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者と家族の物理的精神的環境を考慮し、サービスにつなげています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様ご本人のADLに応じご本人様が無理なく出来る家事などを手伝っていただいています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	帰宅願望の強い方への対応について、ご家族様と相談し声掛けの仕方やご家族様の精神面の負担にならないよう御互いの状況を把握しご本人様とご家族の要望に応じています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会などきていただき以前と同じ交流をしていただいています。また携帯電話を使用できるご利用者様についてはご家族様、施設了承の元 居室にて携帯電話を使用していただき以前と同じ交流をしていただいています。馴染みのある生田緑地のバラ園にも出かけました。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	良好な関係にある1Fの入居者と2Fの入居者との交流を心がけています。イベントなど合同で行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了した方でも家族を通じて、他事業者への情報提供等、支援を行っています。また電話にてご連絡させていただき近況などをお伺いする場合があります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアの中でアセスメントを行い、申し送りやカンファにて、意向や希望の把握を随時行っています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前や入居後も、利用していた担当ケアマネジャー、及び、家族や本人から情報をえて、今までやってきたこと（家事や生け花等の趣味）が継続できるよう、支援を行っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のアセスメント以外に、ケアプランの更新時や状態変化の際にもモニタリングや評価を行っています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議やご家族様との面談、日々のケアの中において、モニタリングやアセスメントを行い、介護計画書を作成、職員間で共有を行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に、入居者の言葉や様子を記録し、どういう思いを抱いているのかをリサーチし、申し送りやカンファにて情報の共有及び、介護計画書の見直しを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人と家族の関係性（これまでの生活暦等）を考慮しながら、かかりつけ医の受診の支援や親類との関係の調整を図っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の会員になっており、回覧板や町内会から情報を得て、盆踊り大会に参加をすることができ、楽しむ事ができるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居後に以前通われた病院に通いたいとご本人様とご家族様より要望があった為通われる事がありました。ご家族様が通院困難な場合な時は職員にて対応させていただきます。おいております。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の申し送りやケアの中で、相談をしたり、個人記録に記入し、情報の共有を行い、受診や看護につなげています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	退院後にADLが低下し車椅子生活になったご利用様がいらっしゃいましたが医師、相談員、看護師、家族と話し合いを行い注意点や状態変化の際、定期受診の相談をおこない対応いたしました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	その方にあった、急変時対応マニュアルを作成し、台所に掲示しています。又、どのような状態の時を悪化とするのかを明記し、職員に周知しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	会議の中で初期手当や確認点など研修という形で説明しております。不安がある職員には、個別に対応の仕方を伝えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災マニュアルの確認、定期的な防災訓練を実施しており、実際にすぐに行動が起こせるようにしています。災害時などオーナーや地域の方に声をかけ協力していただけるようお願いしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	帰宅願望が強い方など、その方の生活歴や性格を考慮し、言葉掛けや対応をしご本人様の伝えたいことの把握に努めております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	購入品の希望があった場合は、一緒に買い物へ行き、自分で選ぶように働きかけています。又、普段の着替えの洋服や飲み物も、自分で選べるよう声掛けを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	働きたいのか、散歩をしたいのか、又は、のんびりと過ごしたいのか、伺いながら、行動を共にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	何を着ていいか悩んでいる利用者様には職員が間に入り洋服を選んでいただいています。ご本人様が着たい洋服などを来ていただいております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常的に調理をしていただく事は難しいですがイベントの時や簡単な調理の時は手伝っていただいています。盛り付けや配膳などご本人様の負担にならないように手伝っていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の状態に合わせたご飯の量を盛り付けたり、適切な飲水量が確保できるように、声掛け等、支援を行っています。その日によって変わる場合もありますのでご利用者様の配膳時に確認しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアが必要な方には介助しております。ご本人様の状態に合わせスポンジブラシなどを使用し口腔内の清潔の維持をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ADLにより定時に声掛けをする方、パットを交換する方完全に自立の方などご入居者様にあった対応をしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	週に1度ヤクルトを提供し飲んでいただいております。便秘になりやすい方などには飲水量を大目にしたりしています。また体操などにも参加していただいています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的に入浴日は決まっているが、その人の気分で日時が変更になる時があります。入浴ができない時が続くような場合は、足浴や清拭で対応しています。入浴剤などを使いリラックスしていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各入居者が、自由に居室やフロアにて過ごしています。お一人での移動が不可能な場合は、その時の状態観察を行ない、本人に聞いてから、休息の支援を行なっています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が記載した往診記録の確認、又は、個人記録に添付してある薬剤情報を確認しながら、服薬の支援を行なっています。状態など変化した際は往診医に連絡し薬の変更がある場合があります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事が好きなご利用者様にはご本人様の無理のない範囲で洗濯物干しや盛り付けやテーブル拭きなど手伝っていただいています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日は難しく天気がいい日などには外気浴や近隣の散歩を職員と朝おこなっております。散歩の希望の多いご利用者様などはご家族様と協力し散歩に行ってくださいしております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には立替制度であり金銭を所持はしていませんがご本人様の希望などがある際はご家族様施設了承のもと持っていております。大きな金額の場合は施設金庫にてお預かりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家に帰りたいという訴えがあった時や用事があったときには、電話ができるように支援を行っています。 ご利用者様によっては携帯電話を使用し連絡をとっていただいております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者が居心地よく生活し季節を感じていただけるよう季節の飾りつけをしたりしています。また鏡を見て混乱する場合があります。また洗面台にカーテンを使用の時のみ開けています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1Fの入居者と気の合う2Fの入居者のところへ、遊びに行き、気分転換を図っています。 入居者各々が、自由に居室やフロアへの移動を行っています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使っていた、食器や家具を居室において、なるべく、自宅に近い感覚で過ごしてもらえるよう、配慮を行っています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その人の力量に合わせて、家事の継続を行っています現在では洗濯物干しやたたむ事などを手伝っていただいております。		

目標達成計画

事業所名 花物語のぼりと

作成日 2014年6月19日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	16	便秘の予防	薬を使わずに排便コントロールができるようにしていく	週1回五穀米のご提供と細切りかてんを汁物に入れ食物せんいを摂取して便秘にならないように掛けている	26年4月から 1年間
2	13	防災・避難訓練の実施	定期的な訓練以外に毎日の運動をかねておこなう	毎日避難訓練経路へご案内し、川原路の確認運動をおこなう	26年4月から 1年間
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。